

平成28年度 自己評価及び学校関係者評価

高鍋農業高等学校

部	今年度の取組	自己 評価	学校 関係者 評価
学校 全体	1 進路決定100%。	A	A
	2 全学科の定員確保及び魅力ある学科づくり。	B	
	3 高大連携プログラムの構築と具現化。	A	
	4 地震・津波に対する防災教育・訓練の計画的な実施（学校・寮）。	B	
教務 部	1 わかる授業をめざし、ICT教育の推進を図る。	A	A
	2 教務内規の変更を行う。	B	
	3 積極的な情報発信を行い、学校PRに努める。	A	
	4 情報化を推進し、校務作業の効率化を図る。	A	
生徒 指導	1 生徒の自主的・自発的活動を支援し、自己指導力を育成する。	B	B
	2 服装容儀・礼法指導の徹底と規範意識の高揚を図り、基本的な生活習慣を確立させる。	B	
	3 職員や関係機関との連携を密に行い、問題行動の未然防止と早期対応に努める。	A	
	4 部活動の活性化を推進する。	B	
進路	1 生徒一人ひとりの進路意識の向上及び進路の決定を目指す。	B	A
	2 個々に対応した早期の進路相談や受験指導により、進路決定100%を目指す。	A	
農務 部	1 本県農業を担う農業経営者および食品関連産業界で活躍できる人材を育成する。	A	A
	2 各学科の特色の精鋭化と学科間の連携を推進する。	B	
	3 地域や関係機関と連携を深め、高い専門性に立脚した特色ある農業教育を展開する。	A	
寮務 部	1 学習と生活の両立により、知・徳・体の調和のとれた、豊かな心とたくましく生きる人材の養成を図る。	B	B
	2 共同生活をとおして、自主性・自律心・協調性・責任感などの徳性を養う。	A	
	3 寮生の自主活動を指導して、企画運営能力と指導力を育成する。	B	
	4 学校や農場との連携を図りながら、自己実現力の養成に努め、社会の進展に適切に対応できる農業経営者の育成を図る。	B	
	5 地震等自然災害が発生した時の緊急対応能力の向上に努める。	A	

【評価】 A：目標を十分に達成できた B：現在、取組中である C：目標を達成できなかった